

令和5年度 石岡市立杉並小学校グランドデザイン

本県の教育目標

- ・ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- ・じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- ・郷土を愛し 協力しあう心を育てる

【新】茨城県総合計画

基本理念 『活力があり、県民が日本一幸せな県』
Ⅲ「新しい人材育成」
 茨城県の未来をつくる「人材」を育て、日本一子どもを産み育てやすい県を目指す

政策11 次世代を担う「人材」
 政策12 魅力ある教育環境
 政策13 日本一、子どもを産み育てやすい県
 政策14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城
 政策15 自分らしく輝ける社会

学校教育目標

よりよい自分を求めて、健やかに生きる子の育成

目指す児童像	目指す学校像	目指す教師像
<ul style="list-style-type: none"> ○進んで学習し粘り強く考える子 ○美しさに感動し思いやりのある子 ○明るく元気で進んで運動する子 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭・地域と連携・協働する学校 ○互いの良さを認め合い、自分の良さを発揮できる学校 ○明るく温かみがあり、信頼される学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの成長に寄り添い粘り強く取り組む教師 ○美しさを求め人間性豊かで愛情のある教師 ○明るく積極的にで活気に満ちた教師

学校経営目標

誰もが“楽しさ”を実感できる学校づくり
 ー児童、保護者・地域、教職員にとっての“楽しさ”を追求するー
 〈キーワード 内発的動機づけ〉

基本目標

「ふるさとに学び 夢にはばたく 輝くひとづくりのまち」

【基本施策】

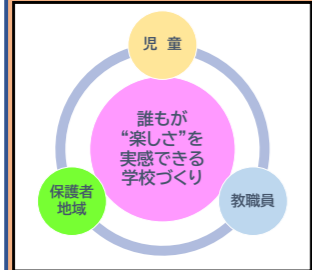
1 創意ある学校教育の推進	2 学校施設の整備・充実
3 生涯学習の推進	4 生涯スポーツの推進
5 文化・芸術の推進	6 青少年の健全育成
7 歴史・文化財の保存・活用	

学校教育が育成を目指す児童生徒の姿

協働 ・課題を発見、設定、発信しようとする。
 ・多様な他者とコミュニケーションをとりながら、協働的に学ぼうとする。

自律 ・学びを調整しながら、主体的に学習に取り組もうとする。
 ・試行錯誤しながら、たとえ失敗しても、粘り強く挑戦し続ける。

尊自他重 ・自分のよさを発揮しながら、自分らしく、自信をもって学ぶ。
 ・多様な価値を認め、他者を尊重しながら共に高め合う。



<基本的な考え方>

- 1 コロナ禍において、社会全体が不安感に包まれる中、学校の主体である児童が、杉並小学校で生活している間は、楽しい時間と場所を提供できる学校でありたい。様々な教育活動を通して、未来ある児童を育てるため、学校で児童が“楽しさ”を実感できることは、教育活動の必須条件だと考える。
- 2 学校の存在意義を考えたとき、保護者や地域の学校としての在り方も考慮しなくてはならない。保護者や地域の学校としての役割を考えれば、児童を通して、保護者や地域の方々に“楽しさ”を提供できる学校でありたいと考える。
- 3 教職員が元気でこそよい教育を提供できるし、「杉並小学校での仕事が楽しい!」「杉並小学校に勤務できてよかった!」と感じられるような学校であってこそ、杉並小学校の児童や保護者、地域の方々と“楽しさ”を共有できると考える。

誰もが“楽しさ”を実感できる学校づくり

保護者・地域が“楽しさ”を実感できる学校 ～積極的広報活動とコミュニティスクールの推進～

1 わかる“楽しさ”
 〈目標〉 社会に開かれた教育課程の確立
 〈方策〉 ・市広報紙、各種たより、Webページ等による積極的な広報活動
 ・地域の教育資源の掘り起こし(コミュニティスクールの推進)
 〈検証〉 ・学校評価アンケート
 「学校からの情報発信の取り組みを理解している」:70%以上
 ・学校評価アンケート
 「子供の学校での様子を理解している」:80%以上

2 参加する“楽しさ”
 〈目標〉 保護者・地域との連携協働体制の確立
 〈方策〉 ・学校行事への参加、教育活動へのボランティアやゲストティーチャーとしての参加(コミュニティスクールの推進)
 〈検証〉 ・学校評価アンケート
 「適切に学校行事が設定されている」:80%以上
 ・学校評価アンケート
 「できる限り教育活動に協力している」:80%以上

児童が“楽しさ”を実感できる学校 ～自己肯定感の高揚と自治能力の向上～

1 学ぶ“楽しさ” (協働・自律)
 〈目標〉 基礎・基本の確実な定着と児童が学ぶ授業の推進
 〈方策〉 ・ペア・グループ学習の深化 ・学社連携・学社融合の推進
 〈検証〉 ・児童アンケート
 「学校での勉強が楽しい」:85%以上
 ・学力診断テスト
 「正答率前年度比」:5%アップ

2 かかわる“楽しさ” (協働・自他の尊重)
 〈目標〉 自治能力の向上
 〈方策〉 ・杉並小をよりよくする会による生活の見直し ・主体的・協働的な活動の推進
 〈検証〉 ・児童及び学校評価アンケート
 「友達と仲良く生活している」:85%以上

3 できる“楽しさ” (自律・自他の尊重)
 〈目標〉 自己肯定感の高揚(自律の支援)
 〈方策〉 ・児童が活躍できる場の創出 ・児童のよさ(過程・貢献・努力・成長)の称賛
 〈検証〉 ・児童アンケート
 「日頃から頑張ったことがある」:85%以上
 ・学校評価アンケート
 「子どものよさを認め伸ばしている」:80%以上

教職員が“楽しさ”を実感できる学校 ～働き方改革の推進と働きがいの高揚～

1 働く“楽しさ”
 〈目標〉 ワークライフバランスの実現
 〈方策〉 ・学校改善プロジェクトチームによる働き方改革の推進
 ・学校関係者評価委員会での教育活動の検証
 ・PTAとの連携・協力の推進(コミュニティスクールの推進)
 〈検証〉 ・教職員アンケート
 「杉並小では働き方改革が進んでいる」:80%以上
 「職員平均時間外勤務45時間以内100%達成」:10月以上

2 つながる“楽しさ”
 〈目標〉 関わるすべての人との良好な人間関係の構築
 〈方策〉 ・適切な組織マネジメントによる時間の確保
 ・保護者への積極的な情報提供の推進
 〈検証〉 ・教職員アンケート
 「意欲を持って職務に専念できた」:80%以上
 「困ったときに相談しやすい職場環境である」:80%以上
 「児童・保護者とも良好な人間関係が築けた」:80%以上



